



特集

しっかり分別 ごみから資源へ

日常生活に欠かせない、「ごみ出し」。しっかり分別すれば資源として生まれ変わるものがたくさん。逆に分別方法を間違えてしまうと、リサイクルに支障が出たり、最悪の場合、焼却施設やリサイクル施設での処理が停止してしまうことも！
今回は、資源物、ごみの分け方・出し方の情報をお届けします。

☎資源循環推進課 ☎2998-9146

ごみを出す、その前に！ 分別方法あってますか？

◆何で分別が必要？◆

普段何気なく出しているごみ。分別して出すことで、二酸化炭素の排出量の削減や、限りある資源の有効活用、ごみ処理費用の削減などにつながります。

今回の特集では、日ごろ市民の皆さんから寄せられる分別方法の質問や、特に注意が必要な分別について紹介します。年末年始を前に、ごみの分け方・出し方を再確認しておきましょう。

Q 「燃やせるごみ」を出す時、水を切るって
いうけど、どうしてなの？



所沢市リサイクル啓発キャラクター「リック」



バーベキューで火を起こす時、木炭に水分が含まれると火が燃えにくいよね。
ごみの出し方に置き換えて考えてみよう！

A 水分が多いと、焼却するために大きなエネルギーが必要になるからです。生ごみを捨てる時は、ぎゅっとひと絞りしてから捨ててください。
生ごみ処理機やコンポストの利用もお勧めです。



生ごみは捨てる前にひと絞り。



生ごみ処理機やコンポストを利用して、乾燥させたり、土に戻すこともできます。

Q 「容器包装プラスチック」って、
どんなプラスチックのこと？



このマーク見たことあるかな？
ごみとして出す前に、このマークを確認しよう！

A プラマークがついている容器や包装、発泡スチロールなどの緩衝材です。
間違いやすいのは、ハンガーやバケツ、衣装ケースや歯ブラシなど、プラマークがついていないプラスチック製品は「破碎ごみ類」に出してください。



集められた容器包装プラスチックは、工場に運ばれたあと、コンベヤにのせて、人の手で選別します。ここでは、汚れたプラスチックやプラマークのついていない製品を除去します。